

資料1

前回審議会における委員意見とその対応方針

主要意見		対応方針
テーマ	内容	
【資料 2】 第3次浜田市総合振興計画の進め方	第3次浜田市総合振興計画の策定にあたって、第2次浜田市総合振興計画で整理された問題点や課題を踏まえて策定していくのか	⇒第2次浜田市総合振興計画の振り返りとして整理し、それを踏まえた上で、次期総合振興計画を作成する
【資料 5】 第3次浜田市総合振興計画基本構想	リーディングプロジェクトは現状どのようなものを想定しているか	⇒現時点で具体的な内容までは固まっておらず、リーディングプロジェクトを位置付けるか否かも含め、今後検討する
	基本理念や将来像の検討において、「浜田市の地域性」はどのように整理されているのか	⇒地域特性に関するデータ分析も進めている。これを本計画にどのように反映するかは今後整理していく
	「育ち、育てる、浜田」という基本理念は確定した前提のもと議論を進めていくのか	⇒現時点では確定しておらず、市長の所信表明や市民委員会の意見等を踏まえた事務局案として提示している段階であるため、審議会の意見に応じて修正・検討を行う
	合併前の旧町村ごとに歴史や文化が異なる中で、「浜田市らしさ」を一つにまとめるのは難しいのではないか	⇒旧町村における共通項を見出し、浜田市らしさを整理する
	高齢者や子どもに比べ、障がい者に関する視点が不足しているのではないか	⇒「誰もが安心して暮らせるための支援体制の充実」に含めているが、今後、施策名称等も含めて再検討する

主要意見		対応方針
テーマ	内容	
<p>【資料6】 こどもワークショップ・アンケート調査・シンポジウム資料</p>	「次世代を担う子ども」という表現だけでなく、“今を生きる子ども”の幸せについても着目するという共通認識で進めていただきたい。	⇒そのような認識で進めていく考えである。
	子どもワークショップはどの程度の規模で開催する予定か	⇒対面開催については約30人規模を想定しており、会場は道の駅 ゆうひパーク浜田を予定している
	ワークショップ参加者やパブリックコメント提出者が限定的になり、市民参加が偏るのではないか	⇒広報誌などを活用しながら段階的に情報発信を行い、市民の興味・関心を高めた上でパブリックコメントを実施することを検討している
	シンポジウム開催目的の「同じ言葉、同じイメージで話せる状態」とは何を意味するのか	⇒「浜田らしさ」について、市民・有識者・関係人口などが共通認識を持つことを意味している。外から見る浜田らしさ、内から見る浜田らしさを共有し、市民委員会等が出た意見をイラスト化・ビジョン化することで、共通イメージとして共有したい考えである
	アンケートは設問次第で回答が誘導される可能性があるため、配慮が必要ではないか	⇒多様な意見を引き出せるよう、設問構成や自由記述欄の設置などに配慮し、特定の方向へ誘導する設問にならないよう留意し実施する
	「満足度」や「好きなところ」ばかりを問うと、問題点を書きにくくなるのではないか。	⇒自由記述欄や「その他」の選択肢を設け、多様な意見を収集できるよう工夫するとともに、心理的安全性に配慮したアンケート設計を行う
	幸福度指標は1項目ではなく、複数項目を想定しているのか	⇒幸福度自体は0～10点で把握する予定であるが、一方で、生活環境や人間関係など複数項目も調査し、幸福度との関連性を分析することを想定している
	幸福度が低い結果だった場合の評価はどのように考えるのか	⇒単年度の数値だけで評価するのではなく、継続的にモニタリングし、年齢層別や要因分析を行いながら変化を把握していく